

「やりなおし」に時間をかけよ

前期テストⅡが近づいてきました。皆さんのノートは、本当に力を付けるためのノートになっていますか。ただ「やればよい。」「提出すればよい。」となっていないですか。次のような学習に当てはまる人は、学習方法をもう一度見直す必要があります。

- 単語や漢字を練習しているが、自己テストをして確かめていない。
- 問題を解いているが、まるつけをしていない。
- 間違った問題を赤で訂正しているが、解き直しをしていない。

この3つの傾向に当てはまる人がいます。もちろん学習をしないよりずっといいのですが、これでは効果的な学習とは言えません。問題を解くことが中心となり、まるつけが付け足しのようになっています。できないことをできるようにする時間が不足しているのです。できないことをできるようにすることを学習の中心にすえる必要があります。

問題を解く学習	暗記学習
① 問題を解く	① 書くなどして覚える
② まるつけをする	② 自己テストをする
③ できなかった問題を理解する	③ できなかった問題を練習する
④ 解き直す	④ もう一度自己テストをする

このどちらの学習においても、①が学習の中心になってはいけません。まるつけをして、間違いを把握した後が勝負なのです。問題を解く量が少し減ってでも、③④が学習の中心となるように取り組みましょう。できないことをできるようにすることは、きついことです。しかし、それが学習です。やりなおしにこそ時間をかけるべきなのです。

部活動や習い事でも、同じ練習を行っていても差が出てくるのは、能力の差だけではありません。不器用な人でも、それを認識し地道にくりかえすことで力を付けている人はたくさんいます。大事なのはどのような意識をもって取り組むかなのです。意識の差が力の差となるのです。

まるつけの後を学習の中心とせよ